

奈良のシカ保護管理計画検討委員会の設置について

奈良のシカ保護管理計画検討委員会は、「奈良公園基本戦略」に基づき、「100 年後も、奈良のシカが変わらず奈良公園に元気で暮らしていること」を目標として、「奈良のシカ保護管理計画」の策定を目的に設置する。

1. 奈良公園基本戦略（平成 24 年 2 月策定）

「奈良公園の価値」

- 奈良公園は国内外から年間 1000 万人以上の来訪者が訪れる日本を代表する観光地であり、市街地に隣接した公園である。
- 奈良公園には世界遺産である「古都奈良の文化財」をはじめ、数多くの資源が存在している。
- 奈良公園の価値とは、奈良公園の自然資源、歴史・文化資源、公園資源、及び各資源が融合した独特の風致景観である。

奈良公園の「維持・管理」に関する課題

- ナンキンハゼ等の外来種の侵入による春日山原始林の荒廃
- 「奈良のシカ」による交通事故の増加や農作物の被害
- 奈良公園周辺における樹木の生長による眺望の阻害

「奈良公園基本戦略の基本方針」

県がトータルマネジメントを行い、奈良公園の価値を積極的に維持し、さらなる魅力の向上や魅力の創出に努める。

「基本方針実現に向けた 3 つの柱」

維持：
①価値を守る

利活用：
②魅力を活かす

取組体制：
③県が主体的に

基本方針の実現に向けた施策・事業【自然資源の保存】

◆ 天然記念物の維持・管理

1. 春日山原始林の再生

春日山原始林の荒廃から守り再生するため、春日山原始林保全計画を策定し、特別天然記念物である春日山原始林の再生に努める。

2. 奈良のシカの適切な保護・育成

奈良公園に生息する天然記念物の「奈良のシカ」を適切に保護・育成する。

◆ 植生の維持・管理

3. 奈良公園の植栽計画の策定

樹木の生長による眺望の阻害等に対応するため、奈良公園植栽計画を策定し、奈良公園周辺の植生を適切に維持・管理する。

■春日山原始林
保全計画
検討委員会

■奈良公園
植栽計画
検討委員会

■奈良のシカ保護管理計画検討委員会

歴史的背景、観光資源性等の「奈良のシカ」の特殊性に鑑み、「保護」に重きをおいた新たな保護管理計画の策定を行う。

2. 奈良のシカ保護育成事業の概要

(1) 事業の目的と背景

「奈良のシカ」は古来から春日大社の神鹿として保護され、現在でも人々に親しまれている奈良のシンボルであり、また、重要な観光資源として奈良観光の柱となっている。

一方で、シカによる人身事故や農作物被害等の課題も抱えている。

奈良県では、奈良のシカの保護育成、及び、長きに渡り守り育まれてきた奈良のシカと人との共生の継続を図るため、以下の事業に取り組んでいる。

(2) 事業内容

①「奈良の鹿保護育成事業実行委員会」(平成21年3月24日設立)における事業展開

(1) 実行委員会の構成

奈良県、奈良市、関係機関（春日大社、地元商店街・旅館）

(2) 事業概要

◇団体補助

・一般社団法人奈良の鹿愛護会

- 《実施事業》・奈良の鹿の保護育成事業（負傷・疾病鹿の救助、巡回パトロール等）
 - ・調査研究事業（頭数調査等）
 - ・啓蒙、啓発事業（子鹿公開イベント等）
 - ・人と鹿の共生推進事業（雄鹿の除角、妊娠鹿の一時飼養、食害対策等）
 - ・シカの角きり等伝統行事の実施等

・鹿サポーターズクラブ

- 《実施事業》・愛護会行事の補助
- ・鹿モチーフの商品・土産物開発
- ・奈良公園内鹿パトロール（ごみ拾い、事故防止の注意喚起等）
- ・各種イベント等でのPR活動、チラシ作成、セミナー開催等
- ・奈良公園の鹿相談室の運営（鹿に係る人身事故・農作物被害等の相談窓口）

◇その他保護育成に係る各種事業

鹿の生態調査、鹿の啓発看板設置等

②損害賠償保険への加入

- ・「奈良のシカ」による観光客等への重大な人身事故で県の管理責任が問われた場合に備え、損害賠償保険に加入。

③奈良のシカ保護管理計画検討委員会

100年後も奈良のシカが変わらず奈良公園に元気で暮らしているよう、有識者や関係団体等から広く意見を聴取し、多方面から検討を進め、必要な調査の実施と施策について審議し、適正な保護管理についての計画を策定する。

《奈良のシカ保護管理計画策定の経緯と今後のスケジュール》

平成24年度：生息状況調査実施

平成25年度：「奈良のシカ保護管理計画検討委員会」設立、保護管理計画の検討

平成26年度：保護管理計画の検討

平成27年度以降：保護管理計画の策定